

- 開」第14回日本リウマチ学会関東支部学術集会、さいたま市、2003年12月6日
110. 渥美達也、家子正裕、近 祐次郎、萩原宏美、酒井良江、古崎 章、古川 真、坊垣暁之、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫：抗リン脂質抗体症候群における半定量ループスアンチコアグラント法の診断的意義、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日
 111. 深江 淳、天崎吉晴、坊垣暁之、古川 真、酒井良江、古崎 章、近 祐次郎、近藤 真、萩原宏美、山下由美、渥美達也、小池隆夫：RA患者滑膜細胞のTNF α 産生に対する酪酸の抑制効果の検討、第40回日本臨床分子医学学会学術総会、東京、2003年7月10-11日
 112. 深江 淳、天崎吉晴、坊垣暁之、古川 真、酒井良江、古崎 章、近祐次郎、萩原宏美、山下由美、浄土 智、渥美達也、小池隆夫：単球細胞のTNF α 産生に対する酪酸の抑制効果の検討、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日
 113. 坊垣暁之、天崎吉晴、坊垣 幸、古崎 章、酒井良江、古川 真、深江 淳、片岡 浩、西尾充史、澤田賢一、市川健司、渥美達也、小池隆夫：強皮症に対する自家末梢血幹細胞移植前後における免疫学的変化、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日
 114. 坊垣暁之、天崎吉晴、坊垣 幸、深江 淳、片岡 浩、古川 真、古崎 章、酒井良江、浄土 智、渥美達也、小池隆夫：強皮症の末梢血幹細胞移植療法における遺伝子発現変化の解析、第40回日本臨床分子医学学会総会、2003年7月10-11日
 115. 古川 真、渥美達也、近 祐次郎、萩原宏美、坊垣暁之、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫：強皮症の血管内皮細胞異常活性化に対するプラバスタチンの効果、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日
 116. 古川 真、渥美達也、近 祐次郎、古崎 章、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫：プラバスタチンによる強皮症の血管内皮細胞障害改善作用に関する検討、第26回日本血栓止血学会学術集会、東京、2003年11月27-29日
 117. 古崎 章、萩原宏美、近 祐次郎、古川 真、坊垣暁之、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫：直腸潰瘍をきたした全身性エリテマトーデス(SLE)の2例、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日
 118. 古崎 章、浄土 智、山下由美、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫：FasL 細胞膜発現およびFasL細胞障害活性を規定する特異的FasL細胞内領域の解析、第31回日本臨床免疫学会総会、東京、2003年10月8-9日
 119. 古崎 章、浄土 智、山下由美、坊垣 幸、坊垣暁之、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫：細胞性、可溶性、vesicle TRAIL 間のアポトーシス誘導活性の差異；細胞性 TRAIL による標的細胞死におよぼす分泌型 TRAIL の調節機構の解析、第33回日本免疫学会総会・学術集会、福岡、2003年12月8-10日
 120. 坊垣 幸、小池隆夫：シクロホスファミド投与後に増加する未熟骨髄細胞の性状と樹状細胞への分化能、第62回日本癌学会総会、名古屋、2003年9月25日-27日
 121. 酒井良江、安田 泉、堀田哲也、市川健司、小池隆夫：アザチオプリンが有効であった難治性の腸管パーチェットの1例、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日
 122. 酒井良江、渥美達也、西浦 理、近 祐次郎、近藤 真、古崎 章、坊垣 幸、古川 真、坊垣 暁之、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫：日本人における抗リン脂質抗体症候群の臨床的特徴についての検討、第31回日本臨床免疫学会総会、東京、2003年10月8-9日
 123. 近 祐次郎、渥美達也、酒井良江、古川 真、萩原宏美、古崎 章、坊垣暁之、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫：抗リン脂質抗体(aPL)陽性患者における中枢神経症状の解析、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日
 124. 近 祐次郎、渥美達也、酒井良江、古川 真、萩原宏美、古崎 章、坊垣暁之、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫：血栓性血小板減少性紫斑病を発症した抗リン脂質抗体症候群合併全身性エリテマトーデスの2例、第227回北海道地方会、札幌、2003年6月7日
 125. 近 祐次郎、萩原宏美、古崎 章、浄土 智、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫：血栓性血小板減少性紫斑病を発症した二次性抗リン脂質抗体症候群の2例、日本リウマチ学会第13回北海道・東北支部学術集会、弘前、2003年11月22日
 126. 萩原宏美、古川 真、渥美達也、近 祐次郎、古崎 章、坊垣暁之、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫：関節リウマチ患者における動脈硬化の評価(Arteriosclerosis in Rheumatoid Arthritis)、第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2003年4月24-26日

127. 萩原宏美、古川 真、渥美達也、近 祐次郎、古崎 章、坊垣暁之、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫: 関節リウマチと動脈硬化: Pulse Wave Velocityによる検討、第18回日本臨床リウマチ学会総会、札幌、2003年10月2-3日
128. 吉田修也、近 祐次郎、西浦 理、近藤 真、浄土 智、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫: シェーグレン症候群に伴う間質性腎炎においてアシドーシス補正のみにて骨軟化症の著明改善をみた1例、第229回北海道地方会、札幌、2003年11月8日
129. 加藤 将、浄土 智、近藤 真、近 祐次郎、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫: 抗リン脂質抗体症候群に慢性色素性紫斑を伴う難治性潰瘍を呈した1例、第229回北海道地方会、札幌、2003年11月8日
130. 小池隆夫: 「抗リン脂質抗体症候群: 最近の話題」第166回日本内科学会東北地方会生涯教育講演会、仙台市、2002年2月9日
131. 小池 隆夫: 「抗リン脂質抗体症候群: 自己抗体による血栓症と動脈硬化」国立国際医療センター研究所第9回箱根山セミナー、東京都、2002年6月10日
132. 小池 隆夫: 「抗リン脂質抗体症候群 病態と病因」第12回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術総会、教育講演、札幌市、2002年9月22-23日
133. 小池 隆夫: 「抗リン脂質抗体症候群」第32回日本臨床免疫学会学術総会、東京都、2002年12月4-6日
134. 渥美達也、家子正裕、市川健司、古川 真、堀田哲也、浄土 智、天崎吉晴、小池隆夫: 抗リン脂質抗体症候群と関連した抗プロトンピン抗体の意義と特性、第32回日本免疫学会総会学術総会、東京、2002年12月4-6日
135. Li Na, Nakamura Kazuhiko, Ueno Hiroo, Yi Jiang, Abe Masaaki, Matsuoka Shuji, Atsumi Tatsuya, Koike Takao, Shirai Toshikazu, Hirose Sachiko. Ltk polymorphism in systemic lupus erythematosus, 第32回日本免疫学会総会学術総会、東京、2002年12月4-6日
136. 松浦栄次、小林和子、貴志周、渥美達也、稲垣純子、山本 格、保田立二、小池隆夫: 抗リン脂質抗体症候群における血栓形成機序: 酸化LDL-β2グリコプロテインI複合体の自己抗原としての意義、第32回日本免疫学会総会学術総会、東京、2002年12月4-6日
137. 酒井良江、渥美達也、古崎 章、齊藤 幸、古川 真、坊垣暁之、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、市川健司、小池隆夫: 抗リン脂質抗体症候群の臨床的特徴: 当科41症例における検討、第46回日本リウマチ学会総会、神戸、2002年4月22日-24日
138. 市川健司、松浦栄次、渥美達也、天崎吉晴、浄土 智、小池隆夫: ヒトC・1を持つキメラ抗カルジオリピン抗体を用いたIgA抗カルジオリピン抗体と抗・2-グリコプロテインI抗体の測定、第46回日本リウマチ学会総会、神戸、2002年4月22日-24日
139. 古川 真、奥 健志、渥美達也、齊藤 幸、酒井良江、古崎 章、坊垣暁之、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、市川健司、小池隆夫: 脳MRI及び脳血流シンチ(SPECT)のSLE中枢神経(CNS)病変における有用性の検討、第46回日本リウマチ学会総会、神戸、2002年4月22日-24日
140. 深江 淳、天崎吉晴、山下由美、古川 真、酒井良江、古崎 章、坊垣暁之、浄土 智、市川健司、渥美達也、小池隆夫: 慢性関節リウマチ患者滑膜細胞のTNFα産生に対する酪酸の抑制効果の検討、第46回日本リウマチ学会総会、神戸、2002年4月22日-24日
141. 坊垣暁之、天崎吉晴、齊藤 幸、酒井良江、古崎 章、古川 真、深江 淳、片岡 浩、浄土 智、市川健司、渥美達也、西尾充史、澤田賢一、小池隆夫: 自己末梢血純化CD34陽性細胞移植併用超大量免疫抑制療法を施行したびまん性全身性強皮症(SSc)3例における病態変化、第46回日本リウマチ学会総会、神戸、2002年4月22日-24日
142. 古崎 章、渥美達也、齊藤 幸、酒井良江、古川 真、坊垣暁之、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、市川健司、小池隆夫: 大量心嚢液貯留をきたした強皮症の一例、第46回日本リウマチ学会総会、神戸、2002年4月22日-24日
143. 齊藤 幸、深江 淳、渥美達也、酒井良江、古崎 章、古川 真、坊垣暁之、浄土 智、天崎吉晴、市川健司、小池隆夫: 自己免疫疾患における副腎皮質ステロイド療法患者での帯状疱疹発症の危険因子の検討、第46回日本リウマチ学会総会、神戸、2002年4月22日-24日
144. 古川 真、渥美達也、家子正裕、酒井良江、浄土 智、天崎吉晴、市川健司、小池隆夫: 血栓症・妊娠合併症のリスクファクターとしての抗リン脂質抗体症候群、第25回日本血栓止血学会学術集会、神戸、2002年11月14-16日
145. 古崎 章、浄土 智、山下由美、天崎吉晴、市川健司、渥美達也、小池隆夫: 細胞性TRAIL誘導性細胞死における可溶性TRAILおよびvesicle TRAILの調節機構の解析、第32回日本免疫学会総会学術集会、東京、2002年12月4-6日
146. 坊垣暁之: 難治性自己免疫疾患における造血幹細胞移植、第30回日本臨床免疫学会総会

シンポジウム

147. 坊垣暁之、天崎吉晴、齊藤 幸、古川 真、市川健司、渥美達也、西尾 充史、澤田賢一、小池隆夫:自己末梢血純化CD34陽性細胞移植併用超大量免疫抑制療法を施行したびまん性全身性強皮症(SSc)の3症例、第99回日本内科学会総会
148. 坊垣暁之、天崎吉晴、齊藤 幸、酒井良江、古崎 章、古川 真、深江 淳、片岡 浩、浄土 智、市川健司、渥美達也、西尾充史、澤田賢一、小池隆夫:自己末梢血純化CD34陽性細胞移植併用超大量免疫抑制療法を施行したびまん性全身性強皮症(SSc)3症例における病態変化、第46回日本リウマチ学会総会・学術集会、神戸、
149. 坊垣暁之、天崎吉晴、坊垣 幸、片岡 浩、深江 淳、古川 真、酒井良江、古崎 章、浄土 智、市川健司、渥美達也、西尾充史、澤田賢一、小池隆夫:自家CD34純化末梢血幹細胞移植後に免疫機序による血小板減少を来した強皮症の1例、第17回日本臨床リウマチ学会総会、神戸、2002年11月15-16日
150. 酒井良江、渥美達也、武田 紫、堀田哲也、小池隆夫他:眼・心・骨・腎盂に病変を来したRosai-Dorfman diseaseの1例、第12回日本リウマチ学会北海道東北支部学術集会、2002年9月21日-22日
151. 近 祐次郎、向井正也、齊藤 幸、能登谷京、河野通史:結節性多発動脈炎様症状を呈し未治療で経過観察しえたシェーグレン症候群の若年男性例、第17回日本臨床リウマチ学会総会、神戸、2002年11月15-16日
152. 近 祐次郎、市川健司、萩原浩美、古崎 章、酒井良江、坊垣 幸、坊垣暁之、古川 真、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫:多彩な臨床症状を呈しMethotrexateにて寛解維持している難治性 Wegener 肉芽腫症の一例、第17回日本臨床リウマチ学会総会、神戸、2002年11月15-16日
153. 橋本陶子、近 祐次郎、横田美紀、古崎 章、伊藤 幹、萩原浩美、酒井良江、坊垣暁之、古川 真、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、市川健司、渥美達也、小池隆夫。小松博史、下川淳一、米沢和也、北畠 顕: Abiotrophia defectiva による感染性心内膜炎の一例、第225回日本内科学会地方会、札幌、2002年11月9日
154. 近 祐次郎、市川健司、萩原浩美、古崎 章、酒井良江、坊垣 幸、坊垣暁之、古川 真、深江 淳、浄土 智、天崎吉晴、渥美達也、小池隆夫:多彩な臨床症状を呈しMethotrexateにて寛解維持している難治性 Wegener 肉芽腫症の一例、第17回日本臨床リウマチ学会総会、神戸、2002年11月15-16日
155. 山下由美、浄土智、天崎吉晴、市川健司、渥美達也、小池隆夫:抑制レセプター-ILT2/ILIR1に会合する細胞内因子の解析、第32回日本免疫学会総会学術集会、東京、2002年12月6日
156. 深江 淳、天崎吉晴、坊垣暁之、山下由美、浄土 智、市川健司、渥美達也、小池隆夫:慢性関節リウマチ患者滑膜細胞のTNF α 産生に対する酪酸の抑制効果の検討、第32回日本免疫学会総会学術集会、東京、2002年12月6日
157. 深江 淳、天崎吉晴、坊垣暁之、山下由美、古川 真、酒井良江、古崎 章、坊垣暁之、浄土 智、市川健司、渥美達也、小池隆夫:慢性関節リウマチ患者滑膜細胞のTNF α 産生に対する酪酸の抑制効果の検討、第46回日本リウマチ学会総会学術集会、神戸、2002年4月24日
158. 坊垣 幸、深江 淳、渥美達也、酒井良江、古崎 章、古川 真、坊垣暁之、浄土 智、天崎吉晴、市川健司、小池隆夫:自己免疫疾患における副腎皮質ステロイド療法患者での帯状疱疹発症の危険因子の検討、第46回日本リウマチ学会総会学術集会、神戸、2002年4月24日
159. 浄土 智、Shyr-Te Ju、小池隆夫:FasL 発現細胞が分泌する細胞死誘導性 Vesicle の解析、第39回日本臨床分子医学会学術総会。東京、2002年3月1-2日。
160. 浄土 智、古崎 章、山下由美、天崎吉晴、市川健司、渥美達也、小池隆夫:Fasを介する細胞死誘導およびNF κ B活性化機構の検討・可溶性FasLと抗Fas抗体併用による相乗効果所見からの解析、第30回日本臨床免疫学会総会、東京、2002年12月3-4日。
161. 竹内 勤:リウマチ:膠原病の最新の進歩「関節リウマチの最新の治療:抗サイトカイン療法を中心として」日本医学会総会 シンポジウム2003.4.5 福岡
162. 竹内 勤:リウマチ薬物治療の最近の進歩「抗TNF α 抗体インフリキシマブの臨床的効果と今後の課題」第47回日本リウマチ学会 シンポジウム2003.4.24-26 東京
163. リウマチ/膠原病の病態と薬物療法の進歩 日本内科学会生涯教育講演会 2003.東京/大阪/名古屋
164. 鏝田武志、饗場祐一、安達貴弘:CD40を介するアポトーシス阻害シグナルと自己免疫制御:第75回日本生化学会大会 シンポジウム・アポトーシス制御の分子基盤と臨床応用 京都2002年10月14日-17
165. 饗場祐一、樋口哲也、西岡清、鏝田武志:CD40リガンドの異所性発現による末梢B細胞トランス破綻機構の解析 第32回日本免疫

- 学会総会 東京 2002年12月4日-6日
166. 饗場祐一、樋口哲也、西岡清、鏑田武志
「CD40リガンドの異所性発現によるB細胞トランス破綻機構の解析」平成15年12月8日-10日 平成15年日本免疫学会総会、福岡
 167. 鏑田武志「B細胞トランスのメカニズム」平成15年10月9日-10日、第31回日本臨床免疫学会総会、東京
 168. 岸祐介、鏑田武志「抗DNA抗体産生B細胞は辺縁帯で排除される」平成16年12月1日-3日 第34回日本免疫学会学術集会、札幌
 169. Sachiko Hirose, Yoshitimi Hamano, Na Li, Hiromichi Tsurui, Yi Jiang: Genetic basis of B-cell chronic lymphocytic leukemia model. Japanese Cancer Association Special Symposium on Mouse Models for Hematopoietic Neoplasm. January 24-25, 2003, Kyoto.
 170. 広瀬幸子:感受性遺伝子解析による自己免疫発症機序の解析。第26回日本医学会総会シンポジウム2 自己免疫疾患の克服 2003/4/4-6 福岡
 171. 広瀬幸子、修 岩、阿部雅明、大辻希樹、小野栄夫:Fcgr2b 遺伝子プロモーター領域多型と液性免疫応答 第92回日本病理学会総会、ワークショップ13 自己免疫疾患の分子病理 日本病理学会会誌 P167, 2003/4/23-25 福岡
 172. Sachiko Hirose: "Gain-of-function polymorphism of Ltk and autoreactive B cell activation" The 10th Annual Meeting of the Workshop on Autoimmunity. July 11, 2004, Tokyo
 173. 広瀬幸子、藤尾圭志、鶴井博理、中村和裕、山本一彦、西村裕之、白井俊一 MHCクラスII A およびE分子による自己免疫応答の制御 第34回日本免疫学会・学術集会 2004/12/1-3 札幌
 174. 植村 靖史:ヒトV α 24 インバリエントNKT細胞サブセットの樹状細胞を介した免疫制御機構(日本免疫学会)。札幌2004
 175. 劉 天懿:環境物質が有するヒトアレルギー誘導活性を迅速に評価する実験系の確立(日本免疫学会)。札幌2004
 176. 鈴木 元晴:妊娠子宮Th2環境の維持における脱落膜 non-invariant NKT細胞の役割(日本免疫学会)。札幌2004
 177. 溝口史高、越智小枝、小川純、鈴木文仁、萩山裕之、南木敏宏、針谷正祥、窪田哲朗、上阪等、宮坂信之:「腸管囊腫様気腫症(PCI)と縦隔気腫を合併した全身性エリテマトーデス(SLE)の一例」 2004年4月15-17日 第48回日本リウマチ学会総会
 178. 鈴木文仁、南木敏宏、上阪等、宮坂信之:「筋炎モデルマウスにおける筋炎症部位への細胞浸潤に関与するケモカインの解析」 ワークショップ 2004年4月15-17日 第48回日本リウマチ学会総会
 179. 杉原毅彦、関根知世子、針谷正祥、神山邦子、松本 陽、宮坂信之、上阪等:多発性筋炎の新規モデルマウスの作成」 日本免疫学会
 180. 鈴木文仁、南木敏宏、上阪等、宮坂信之:「筋炎モデルマウスにおける筋炎症部位への細胞浸潤に関与するケモカインの解析」2004年4月15-17日 第48回日本リウマチ学会総会
 181. 溝口史高、越智小枝、鈴木文仁、小川純、萩山裕之、南木敏宏、針谷正祥、窪田哲朗、上阪等、宮坂信之:「腸管囊腫様気腫症(PCI)と縦隔気腫を合併した全身性エリテマトーデス(SLE)の一例」 2004年4月15-17日 第48回日本リウマチ学会総会
 182. 溝口史高、越智小枝、小川純、鈴木文仁、萩山裕之、南木敏宏、針谷正祥、窪田哲朗、上阪等、宮坂信之:「腸管囊腫様気腫症(PCI)と縦隔気腫を合併した全身性エリテマトーデス(SLE)の一例」 2004年4月15-17日 第48回日本リウマチ学会総会
 183. 鈴木文仁、南木敏宏、上阪等、宮坂信之:「筋炎モデルマウスにおける筋炎症部位への細胞浸潤に関与するケモカインの解析」 ワークショップ 2004年4月15-17日 第48回日本リウマチ学会総会
 184. 杉原毅彦、関根知世子、針谷正祥、神山邦子、松本 陽、宮坂信之、上阪等:多発性筋炎の新規モデルマウスの作成」 日本免疫学会
 185. 鈴木文仁、南木敏宏、上阪等、宮坂信之:「筋炎モデルマウスにおける筋炎症部位への細胞浸潤に関与するケモカインの解析」2004年4月 第48回日本リウマチ学会総会
 186. 溝口史高、越智小枝、鈴木文仁、小川純、萩山裕之、南木敏宏、針谷正祥、窪田哲朗、上阪等、宮坂信之:「腸管囊腫様気腫症(PCI)と縦隔気腫を合併した全身性エリテマトーデス(SLE)の一例」 2004年4月 第48回日本リウマチ学会総会
 187. 石津明洋、富居一範、早瀬広子、樋口正人、阿部麻美、辻 宗啓、辻 隆裕、高橋利幸、池田 仁、吉木 敬:HTLV-1 env-pX 遺伝子導入ラットに認める免疫異常と自己免疫疾患の発症。ワークショップ13「自己免疫疾患の分子病理」第92回日本病理学会総会、福岡。日本病理学会会誌 92:167, 2003.
 188. 石津明洋:Dominant Negative ATF-1を組み込んだシンプスウイルスベクターによる関節リウマチの遺伝子治療モデル。シンポジウム-11「リウマチの動物モデルと遺伝子治療」第47回日本リウマチ学会総会・学術集会、東京。リウマチ 43:235, 2003.

189. 石津明洋, 富居一範, 早瀬広子, 阿部麻美, 辻 宗啓, 宮武由甲子, 池田 仁, 吉木 敬: 壊死性血管炎の発症における胸腺の関与について. 第5回オステオポンチン研究会生体防御機能異常ワークショップ 2003 第6回肝臓生物学研究会合同年会, 札幌. プログラム p45.
190. 石津明洋, 早瀬広子, 宮武由甲子, 富居一範, 樋口正人, 阿部麻美, 外丸詩野, 池田仁, 吉木敬: 自己免疫疾患モデルとしての HTLV-I env-pX 遺伝子導入ラット. ワークショップ 3「免疫の多様性」第93回日本病理学会総会, 札幌, 日本病理学会会誌 93, 163, 2004.
191. 村田秀行, 他 ループス腎炎患者内浸潤 T 細胞サイトカインの単細胞レベルでの解析 第47回日本リウマチ学会総会(リウマチ 43:345, 2003)
192. 千野裕介, 伊藤 聡, 他 Laser-microdissection(LMD)法によるループス腎炎モデルマウス(MRL/lpr マウス)の腎浸潤 T 細胞の解析 第34回日本免疫学会総会学術集会 札幌, 2004 年
193. 川上純, 中島コト, 玉井慎美, 中村英樹, 江口勝美他. シェーグレン症候群における Toll-like receptors (TLRs) 発現の検討. 第34回日本臨床免疫学会総会, 2004.
194. 中村英樹, 川上純, 玉井慎美, 江口勝美他. シェーグレン症候群における抗 CCP 抗体の意義について. 第13回日本シェーグレン症候群研究会, 2004.
195. 和泉泰衛, 玉井慎美, 中村英樹, 川上純, 江口勝美他. 原発性シェーグレン症候群患者末梢血中の NK 細胞活性低下のメカニズム: NK 細胞表面分子の検討. 第13回日本シェーグレン症候群研究会, 2004.
196. 川上純, 中島コト, 玉井慎美, 江口勝美他. シェーグレン症候群における Toll-like receptor (TLRs) 発現の検討. 第12回日本シェーグレン症候群研究会, 2003.
197. 黄明国, 玉井慎美, 川上純, 江口勝美他. 原発性シェーグレン症候群患者血清中にみられるグランザイム B によって断片化された SS-B (La) 蛋白に対する抗体の検討. 第12回日本シェーグレン症候群研究会, 2003
198. 岡崎拓他: PD-1 と自己免疫疾患. 第26回日本医学会総会(シンポジウム)・2003 年 4 月 福岡
199. Okazaki, T. et al., PD-1/PD-L system and autoimmunity. 第33回日本免疫学会学術集会(シンポジウム)2003 年 12 月・福岡
200. Okazaki, T. et al., Production of autoantibodies and autoimmune diseases in PD-1 knock-out mice. 第32回日本臨床免疫学会学術集会(シンポジウム)2004 年 10 月 東京
201. 岡崎拓他 PD-1 欠損は NOD マウスにおいて Th1 反応を活性化し, I 型糖尿病を悪化させる. 第27回日本分子生物学会年会(ワークショップ)2004 年 12 月・神戸
202. 岡崎拓他 PD-1 欠損マウスを用いた自己免疫疾患のオリゴジェニック解析. 第21回日本疾患モデル学会総会(シンポジウム)2004 年 11 月・京都
203. 中村浩士, 高田智子, 加藤智啓, 西岡久寿樹, 松崎益徳「ウイルス性心筋炎再感染モデルにおける抗心筋抗体の検討」第46回日本リウマチ学会総会
204. 加藤智啓「変形性関節症における自己抗原の網羅的探索と解析」第1回ヒトプロテオーム学会, 唐沢里江, 関根太一, 大岡正道, 西村裕之, 尾崎承一, 西岡久寿樹, 加藤智啓「血管炎における抗内皮細胞抗体の対応抗原に関する検討」第47回日本リウマチ学会総会
205. 中野弘雅, 大岡正道, 松田隆秀, 関根太一, 尾崎承一, 西岡久寿樹, 加藤智啓「ペーチェット病における自己抗体の検索: 抗 cofilin 抗体の同定」第47回日本リウマチ学会総会
206. 加藤智啓, 大岡正道, 関根太一, 尾崎承一, 西村裕之, 三井健一, 西岡久寿樹「プロテオミクスを用いた抗内皮細胞抗体の対応抗原の網羅的同定と解析」第33回日本免疫学会総会
207. 桑名正隆, 他: α -グリコプロテイン I 反応性 T 細胞を標的とした抗リン脂質抗体症候群に対する選択的免疫療法の可能性. 第46回日本リウマチ学会総会 神戸. 2002. 4.
208. 桑名正隆: リウマチ性疾患における病因的自己反応性 CD4⁺T 細胞と樹状細胞を用いたその人為的制御. 第46回日本リウマチ学会総会 神戸 2002. 4.
209. 桑名正隆: 自己免疫疾患の発症機序と自己反応性 T 細胞を標的とした免疫療法. 第32回日本免疫学会総会 東京. 2002. 12.
210. 鎌木淳一, 桑名正隆, 他: 抗リン脂質抗体症候群の診断における抗フォスファチジルセリン・プロトンピン複合体抗体の臨床的意義. 第100回日本内科学会総会 福岡. 2003. 4.
211. 鎌木淳一, 桑名正隆, 他: 全身性エリテマトーデスにおける抗ホスファチジルセリン・プロトンピン複合体抗体の臨床的意義. 第47回日本リウマチ学会総会 東京. 2003. 4.
212. 平林泰彦, 多田真知子, 山下雅大, 小寺隆雄, 石井智徳, 宗像靖彦, 佐々木毅
213. 「ヒト抗 DNA 抗体 O-81 の認識する自己抗原 Herp による抗 DNA 抗体産生の惹起」日本免疫学会総会・学術集会記録 34: 281, 2004
214. 周頴哲, 石井智徳, 平林泰彦, 宗像靖彦, 藤井博司, 佐々木毅「抗 DNA 抗体の細胞内侵

- 入と細胞機能への影響」日本免疫学会総会・学術集会記録 34: 281, 2004
215. 伊藤貴子, 宗像靖彦, 石井恵子, 佐々木毅
216. 「免疫系細胞へのヒトパルボウイルス B19 感染: RA 病態との関連」日本免疫学会総会・学術集会記録 34: 157, 2004
217. 平林泰彦, 佐々木毅「ヒト腎障害性抗 DNA 抗体の対応抗原 Herp」第 48 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2004
218. 平林泰彦, 佐々木毅「抗 DNA 抗体の起源及びその特異的制御」リウマチ 42: 238, 2002
219. 小川法良, 高田由紀子, 下山久美子, 川端浩, 正木康史, 和野雅治, 菅井 進。シェーグレン症候群唾液腺培養上皮細胞におけるケモカイン発現。第 46 回日本リウマチ学会総会神戸, 2002 年 4 月 22-24 日 リウマチ 42(2): 321, 2002.
220. 李 萍, 小川法良, 菅井 進。Study of proliferation and apoptosis in cultured salivary epithelial cells from patients with Sjogren's syndrome. 第 46 回日本リウマチ学会総会 神戸, 2002 年 4 月 22-24 日 リウマチ 42(2): 395, 2002.
221. Li Ping, 小川法良, 菅井進: CD40 刺激はシェーグレン症候群唾液腺上皮細胞死に必須である。第 47 回日本リウマチ学会総会 東京, リウマチ 43(2): 349, 2003.
222. 小川法良, 河南崇典, 正木康史, 和野雅治, 菅井 進: シェーグレン症候群唾液腺上皮細胞死の分子機構の解析。第 33 回日本免疫学会総会 福岡, 第 33 回日本免疫学会・学術集会記録 33: 286, 2003.
223. 小川法良, 下山久美子, 唐澤博美, 河南崇典, 福島俊洋, 正木康史, 和野雅治, 菅井 進: シェーグレン症候群唾液腺上皮細胞死への p38 および JNK の関与。第 48 回日本リウマチ学会総会 岡山, 第 48 回日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集 33: 199, 2004.
224. 田中良哉.: SLE の B 細胞異常とその制御。第 46 回日本リウマチ学会総会シンポジウム(神戸) 平成 14 年 4 月
225. 田中良哉.: リウマチ・膠原病—治療の新展開—。第 26 回日本医学会総会(教育講演)福岡 平成 15 年 4 月 6 日
226. 田中良哉.: Targeting cell surface molecules in autoimmune diseases. 第 33 回日本免疫学会総会学術集会(シンポジウム)福岡。平成 15 年 12 月 8 日
227. 田中良哉. B 細胞を標的とした治療。第 16 回日本アレルギー学会春季臨床大会(シンポジウム)前橋 平成 16 年 5 月 12 日田中良哉. SLE の治療の進歩: 新規生物学的製剤の可能性。第 54 回日本アレルギー学会総会(シンポジウム)横浜。平成 16 年 11 月 6 日
228. 土屋尚之, 京極千恵子, 黒木喜美子, 氷上光輝, 川崎綾, 深沢徹, 橋本博史, 徳永勝士「全身性エリテマトーデス疾患感受性遺伝子の検討」第 46 回日本リウマチ学会。(リウマチ 42: 237, 2002.) 2002
229. 河野肇, 京極千恵子, 鈴木毅, 土屋尚之, 山本一彦, 徳永勝士, 本田善一郎「SLE に関連するヒト Fc γ RIIB 多型の脂質ラフト会合および B 細胞受容体信号伝達抑制への影響」第 33 回日本免疫学会(学術集会記録 33: 197) 2003
230. Kuroki K, Tsuchiya N, Matsuta K, Fukazawa T, Hashimoto H, Tokunaga K 「Association of Leukocyte Immunoglobulin-like Receptor 1 (LIR1, ILT2, LILRB1) polymorphism with susceptibility to RA and SLE in Japanese」第 47 回日本リウマチ学会。(リウマチ 43: 254.) 2004
231. 人見祐基, 土屋尚之, 川崎綾, 鈴木毅, 深沢徹, Bejrachandra S, Chandadnayingyong D, Suthipinittharm P, Tsao BP, 橋本博史, 本田善一郎, 徳永勝士「SLE 感受性におけるヒト CD72 遺伝子多型およびヒト FCGR2B 遺伝子多型の遺伝子間相互作用」第 34 回日本免疫学会(学術集会記録 p279) 2004
232. 川崎綾, 土屋尚之, 深沢徹, 橋本博史, 徳永勝士「APRIL(TNFSF13)遺伝子多型と SLE 発症および病態との関連の解析。第 34 回日本免疫学会(学術集会記録 p279) 2004
233. 橋本博史「全身性エリテマトーデスの病態と治療—病像の変貌と今後の課題」(宿題報告) 第 100 回日内会講演会, 福岡国際会議場 4 月 1 日, 2003
234. 橋本博史: 血管炎の病態と治療—ANCA 関連血管炎を中心に, シンポジウム: リウマチ・膠原病の最新の進歩。第 26 回日本医学会総会, 福岡 4 月 5 日, 2003
235. 戸叶嘉明, 名切 裕, 満尾晶子, 鈴木 淳, 森本真司, 橋本博史: 急性期 SLE 患者における Th1/Th2 バランス: IL-13 の細胞内染色による検討。第 47 回日本リウマチ学会総会, 京王プラザホテル, 東京 4 月 24 日—26 日, 2003
236. Toru Fukazawa, Mika Hirashima, Yuko Morita, Makio Kusai, Hiroshi Hashimoto
237. :The Glucocorticoid Receptor Gene Polymorphism in Patients with Systemic Lupus Erythematosus (SLE). 第 47 回日本リウマチ学会総会, 京王プラザホテル, 東京 4 月 24 日—26 日, 2003
238. 森本真司, 仲野総一郎, 今井環, 片桐彰, 満尾晶子, 戸叶嘉明, 高崎芳成, 橋本博史: 「ループス腎炎 WHOIV 型における Th1 細胞の動態」第 32 回日本臨床免疫学会総会, キャピトル東急 東京 10 月 8 日—9 日, 2004

239. 勝又康弘, 他「組換えC蛋白誘導性自己免疫性筋炎 (EAM)の経時的病態解析」第48回日本リウマチ学会総会, 2004
240. 平形道人, 諏訪 昭, 佐藤 実, 他。「多発性筋炎・皮膚筋炎と自己抗体-その対応抗原と関連病態。」第46回日本リウマチ学会総会 2002年4月
241. 平形道人, 諏訪 昭, 佐藤慎二, 他。「多発性筋炎・皮膚筋炎における自己抗体の臨床免疫学的意義に関する研究」第46回日本リウマチ学会総会 2002年4月
242. 佐藤慎二, 諏訪 昭, 平形道人, 他。「Amyopathic Dermatomyositis 患者血清中の140kDa 蛋白を認識する自己抗体に関する研究」第46回日本リウマチ学会総会 2002年4月
243. 佐藤慎二, 諏訪 昭, 平形道人, 他。「Amyopathic Dermatomyositis 患者血清中に見出された140kDa 蛋白を認識する自己抗体(抗US抗体)に関する研究」第47回日本リウマチ学会総会 2003年4月
244. 平形道人, 佐藤慎二, 諏訪 昭。「自己抗体から見た多発性筋炎・皮膚筋炎の間質性肺炎」第15回日本アレルギー学会春季臨床大会 2003年5月
245. 小林和子, 松浦栄次, 劉 慶平, 笠原順子, 稲垣純子, 保田立二, 小池隆夫。「 α 2-グリコプロテイン I に対する自己抗体の動脈血栓への関与」第46回日本リウマチ学会総会・学術集会(神戸), 2002年。
246. 小林和子, 渥美達也, 保田立二, 小池隆夫, 松浦栄次「血中酸化LDL- α 2-グリコプロテイン I 複合体の意義」第47回日本リウマチ学会総会・学術集会(東京), 2003年。
247. 松浦栄次, 小林和子, 渥美達也, 山本 格, 榎野博史, 保田立二, 小池隆夫。第35回日本動脈硬化学会総会(京都), 2003年。
248. 小林和子, 多田耕司, 山本 格, 保田立二, 松浦栄次。「抗リン脂質抗体症候群に由来する自己抗体の血栓原性の解析」第48回日本リウマチ学会総会・学術集会(岡山), 2004年。
249. 田淵雅子, 小林和子, 多田耕司, 山本 格, 保田立二, 松浦栄次「血中酸化LDL- α 2-グリコプロテイン I-CRP 複合体の意義」第48回日本リウマチ学会総会・学術集会(岡山), 2004年。
250. 木村洋貴, 羽田兼吾, 高橋裕子, 長嶋孝夫, 吉尾卓, 岡崎仁昭, 簗田清次「フローサイトメーターを用いた膠原病患者の循環血管内皮細胞の解析」第32回日本臨床免疫学会総会, 東京, 平成16年10月8日
251. 佐藤英智, 岡崎仁昭, 狩野庄吾, 簗田清次「SLEにおけるin vivoでのアポトーシス指向性リンパ球の増加とその意義」第48回日本リウマチ学会総会, 岡山, 平成16年4月15日
252. 長嶋孝夫, 岡崎仁昭, 簗田清次「活動期SLE患者末梢血リンパ球のCRTH2とST2Lの発現様式」第48回日本リウマチ学会総会, 岡山, 平成16年4月15日
253. 長嶋孝夫, 岡崎仁昭, 簗田清次「ビスホスフォネートのRA由来滑膜細胞に対するアポトーシス誘導能の検討」第48回日本リウマチ学会総会, 岡山, 平成16年4月16日
254. Nagashima, T., Okazaki, H., Hirata, D., Iwamoto, M., Matsuno, H., Kano, S., Minota, S.: Apoptosis of rheumatoid synovial cells by statins through blocking protein-geranylgeranylation. 第47回日本リウマチ学会総会, 東京, 平成15年4月24日
255. 佐藤浩二郎, 立石晶子, 久保かなえ, 米積亜紀, 神田浩子, 三村俊英, 山本一彦「CD4+CD25+T細胞による抗原提示細胞の機能抑制のメカニズムと、それがT細胞増殖に与える影響の解析」第33回日本免疫学会総会
256. 佐藤浩二郎, 立石晶子, 米積亜紀, 久保かなえ, 神田浩子, 三村俊英, 山本一彦: CD4+CD25+T細胞による抗原提示細胞の機能抑制のメカニズムと、それがT細胞増殖に与える影響の解析。第47回日本リウマチ学会総会
257. 佐藤浩二郎, 佐藤詩子, 久保かなえ, 立石晶子, 米積亜紀, 神田浩子, 三村俊英, 山本一彦「APECED (autoimmune polyendocrinopathy-candidiasis-ectodermal dystrophy)の原因遺伝子AIRE (autoimmune regulator)の標的分子とそのメカニズムの解析」第31回日本臨床免疫学会総会。総説:CD25+CD4+T細胞によるCD4+T細胞の増殖抑制機構 佐藤 浩二郎 臨床免疫 Vol. 42, No. 4, p421-426 多線性自己免疫症候群 佐藤 浩二郎 臨床看護臨時増刊号 Vol. 30, No. 6, p831-834
258. 山・雅英, ほか。「抗リン脂質抗体の誘導・発症における接着分子の意義:接着分子KOマウスを用いた検討」, 第64回日本血液学会・第44回日本臨床血液学会合同総会(ワーキングプログレス), 2004年9月, 京都。
259. 山・雅英, ほか。「抗リン脂質抗体症候群に対するrituximab(リツキサン)の有用性」, 第63回日本血液学会・第43回日本臨床血液学会合同総会, 2003年9月, 大阪。
260. 山・雅英, ほか。「反復性劇症型抗リン脂質抗体症候群に対する血漿吸着療法の有用性」, 第26回日本血栓止血学会学術総会, 2003年11月, 東京
261. 山・雅英, ほか。「ループスアンチコアグラント標準化:平成15年度報告」, 第26回日本血栓止血学会学術総会(シンポジウム), 2003年

11月, 東京.
262. 山・雅英, ほか. 「抗リン脂質抗体陽性不育症に対する少量アスピリン, ヘパリン皮下注射併用療法の有用性」, 第27回日本血栓止血学会学術総会, 2004年11月, 奈良.

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし

G. 知的財産権の出願・登録状況(予定も含む)

1. 特許取得

1. 「T細胞リセプターと鎖タンパク, これをコードする遺伝子若しくはその一部を含む精製された核酸又は該タンパク若しくは該核酸に基づく自己免疫疾患検出方法」(特願平9-309302)
2. 分泌腺細胞とリンパ球との接着阻害剤(08/946838)
3. 「変形性関節症の検定方法及び検定キット」(2002年9月出願)
4. 「変形性関節症の検定方法」2003年3月出願, 「血管炎抗原ペプチドと血管炎診断方法」(2003年4月出願)
5. 「関節リウマチの検定方法」2004年3月出願
6. 「Fas抗原発現増強剤」(特許出願番号:特開2003-171282)
7. 「免疫調節作用関連の新規遺伝子及びTh1ヘルパーT細胞とTh2ヘルパーT細胞のバランスを調べる検査方法」(出願番号:特願2002-314957)出願日:平成14年(2002)10月29日発明者:西村孝司 出願人:西村孝司、東レ株式会社
8. 「改変標的化T細胞の製造方法及び医薬」(出願番号:特願2003-425009)出願日:平成15年12月22日 発明者:西村孝司、安川正貴 出願人:北海道ティー・エル・オー株式会社
9. 「癌抗原非特異的な標準化T細胞の製造方法及び医薬」(出願番号:特願2004-17740)出願日:平成16年1月27日 発明者:西村孝司 出願人:北海道ティー・エル・オー株式会社
10. 「標的化T細胞の製造方法及び医薬」(出願番号:特願2004-17747)出願日:平成16年1月27日 発明者:西村孝司、黒木政秀 出願人:北海道ティー・エル・オー株式会社
11. 「ヒトTh1免疫とTh2免疫のバランスを調べるための検査キット」申請中

(3) 研究成果の刊行物に関する一覧表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yasuda S., Atsumi T., Matsuura E., Kaihara K., Yamamoto D., Ichikawa K., <u>Koike T.</u>	Significance of valine/leucine ²⁴⁷ polymorphism of β 2- glycoprotein I in antiphospholipid syndrome: increased reactivity of anti- β 2- glycoprotein I autoantibodies to the valine ²⁴⁷ β 2- glycoprotein I variant.	Arthritis Rheum	52	212- 218	2005
Kataoka,H., Takahashi,S., Takase,K., Yamasaki,S., Yokosuka,T., <u>Koike,T.</u> , Saito,T.	CD25+CD4+ regulatory T cells exert in vitro suppressive activity independent of CTLA- 4.	Int Immunol	1		in press
Li,N., Nakamura,K., Jiang,Y., Tsurui,H., Matsuoka,S., Abe,M., Ohtsuji,M., Nishimura,H., Kato,K., Kawai,T., Atsumi,T., <u>Koike,T.</u> , Shirai,T., Ueno,H., Hirose,S.	Gain- of- function polymorphism in mouse and human Ltk:implications for the pathogenesis of lupus erythematosus.	Hum Mol Genet	13	171- 179	2004
Yasuda,S., Atsumi,T., Ieko,M., Matsuura,E., Kobayashi,K., Inagaki,J., Kato,H., Tanaka,H., Yamakado,M., Akino,M., Saitou,H., Amasaki,Y.,Jodo,S, Amengual,O., <u>Koike,T.</u>	Nicked β 2- glycoprotein I: a marker of cerebral infarct and a novel role in the negative feedback pathway of extrinsic fibrinolysis.	Blood.	103	3766- 3772	2004
Ieko,M., Tarumi,T., Takeda,M., Nito,S., Nakabayashi,T., <u>Koike,T.</u>	Synthetic selective inhibitors of coagulation factor Xa strongly inhibit thrombin generation without affecting initial thrombin forming time necessary for platelet activation in hemostasis.	J Thromb Haemost	2	612- 622	2004
Amengual,O., Atsumi,T., <u>Koike,T.</u>	Antiprothombin antibodies and the diagnosis of antiphospholipid syndrome.	Clin Immunol	112	144- 149	2004
Kataoka,H., <u>Koike,T.</u>	Lupus mortality in Japan.	Autoimmun Rev	3	421- 422	2004
Das,H., Atsumi,T., Fukushima,Y., Shibuya,H., Ito,K., Yamada,Y., Amasaki,Y., Ichikawa,K., Amengual,O., <u>Koike,T.</u>	Endo,T.,Sato,N.,Koizumi,K.,Nishio,M., Fujimoto,K.,Yamamoto,S.,Sakai,T.,Boh gaki,T.,Sawada,K.,Koike,T.: A preliminary analysis of the balance between Th1 and Th2 cells after CD34+ cell- selected autologous PBSC transplantation.	Clin Rheumatol	23	218- 222	2004
Xiao,S., Deshmukh,S.U., Jodo,S., <u>Koike,T.</u> , Sharma,R., Furusaki,A., Sung,J.S., Ju,Shyr- Tu.	Novel negative regulator of expression in Fas Ligand(CD178)Cytoplasmic tail:Evidence for Translational Regulation and against Fas Ligand Retention in secretory lysosomes.	J Immunol	173	5095- 5102	2004
Yasuda,S., Atsumi,T., Ieko,M., <u>Koike,T.</u>	β 2- glycoprotein I,anti- β 2- glycoprotein I, and fibrinolysis.	Thromb Res	114	461- 465	2004
Atsumi,T., Amengual,O., Yasuda,S., <u>Koike,T.</u>	Antiprothombin antibodies- are they worth assaying?	Thromb Res	114	533- 538	2004

Bohgaki,M.,Atsumi,T.,Yamashita,Y.,Yasuda,S.,Sakai,Y.,Furusaki,A.,Bohgaki,T.,Amengual,O.,Amasaki,Y.,Koike,T.	The p38 mitogen- activated protein kinasa(MAPK)pathway mediates induction of the tissue factor gene in monocytes stimulated with human monoclonal anti- b2Glycoprotein I antibodies.	Int Immunol	16	1633-1641	2004
Sugjura-ogawara.M., Atsumi,T., Ozaki,Y.,_Koike,T., Suzumori,K.	Phosphatidylserine- dependent antiprothrombin antibodies are not useful markers for high- risk woman with recurrent miscarriages.	Fertil Steril	82	440-1442	2004
Li,N., Nakamura,K. ,Jiang,Y.,Tsurui,H., Matsuoka,S., Abe,M., Ohtsuji,M., Nishimura,H., Kato,K., Kawai,T.,Atsumi,T.,_Koike,T., Shirai,T., Ueno,H. ,Hirose,S.	Gain- of- function polymorphism in mouse and human Ltk:implications for the pathogenesis of lupus erythematosus.	Hum Mol Genet	1	171- 179	2004
Endo,T., Nakao,S., Koizumi,K., Nishio,M., Fujimoto,K., Sakai,T., Kuwano,K., Obara,M.,_Koike,T.	Successful treatment with rituximab for autoimmune hemolytic anemia concomitant with proliferation of Epstein- Barr virus and monoclonalgammopathy in a post – nonmyeloblastic stem cell transplant patient.	Ann Hematol	83	114- 116	2004
Shimizu,C.,_Koike,T., Sawamura,Y.	Double pituitary adenomas with distinct histological features and immunophenotypes	J Neurol Neurosurg Psychiatry	75	140	2004
Koizumi,K., Fujimoto,K., Haseyama,Y., Endo,T., Nishio,M., Yokota,K., Itoh,K., Sawada,K.,_Koike.T.	Effective high- dose chemotherapy combined with CD34+ selected peripheral blood stem cell transplantation in a patient with cutaneous involvement of nasal NK/T- cell lymphoma.	Eur J Haematol	72	140- 144	2004
Ieko,M., Tarumi,T.,Takeda,M., Nito,S., Nakabayashi,T.,_Koike.T.	Synthetic selective inhibitors of coagulation factor Xa strongly inhibit thrombin generation without affecting initial thrombin forming time necessary for platelet activation in hemostasis.	J Thromb Haemost	2	612- 622	2004
Endo,T., Koizumi,K., Nishio,M., Fujimoto,K., Sakai,T., Kumano,K., Obara,M., Minauchi,K.,_Koike.T.	Localized relapse in bone marrow of extremities after allogenic stem cell transplantation for acute lymphoblastic leukemia.	Am J Hematol	76	279- 282	2004
Endo,T., Sato,N., Koizumi,K., Nishio,M., Fujimoto,K., Yamamoto,S., Sakai,T., Bohgaki,T., Sawada,K.,_Koike.T.	A preliminary analysis of the balance between Th1 and Th2 cells after CD34+ cell- selected autologous PBSC transplantation.	Cytherapy	6	337- 343	2004

Nagai,S., Shimizu,C., Umetsu,M., Taniguchi,S., Endo,M., Miyoshi,H., Yoshioka,N., Kubo,M., <u>Koike,T.</u>	: Identification of a functional peroxisome proliferator- activated receptor responsive element within the murine perilipin gene.	Endocrinology.	45	2346-2356	2004
Kubo,M., Shimizu,C., Kijima,H., Nagai,S., <u>Koike,T.</u>	Alternate promoter and 5'- untranslated exon usage of the mouse adrenocorticotropin receptor gene in adipose tissue.	Endocr J	51	25- 30	2004
Hashimoto,S., Kawata,T., Schnermann,J., <u>Koike.T.</u>	Chloride Channel Blockade Attenuates the Effect of Angiotensin II on Tubuloglomerular Feedback in WKY but not Spontaneously Hypertensive Rats.	Kidney Blood Press Res.	27	35- 42	2004
Yamamoto,S., Tsuji,T., Matsuzaki,J., Zhang,Y., Chamoto,K., Kosaka,A., Togashi,Y., Sekikawa,K., Sawada,K., Takeshima,T., <u>Koike.T.</u> , Nishimura,T.	Unexpected role of TNF- α in graft versus host reaction (GVHR): donor-derived TNF- α suppresses GVHR via inhibition of IFN- γ -dependent donor type- 1 immunity.	Int Immunol	16	811- 817	2004
Kubo,M., Shimizu,C., Kijima,H., Nagai,S., <u>Koike.T.</u>	Alternate promoter and 5'- untranslated exon usage of the mouse adrenocorticotropin receptor gene in adipose tissue.	Endocr J	51	25- 30	2004
Endo,T., Mogi,Y., Koizumi,K., Nishio,M., Fujimoto,K., Sakai,T., Kumano,K., Obara,M., Ikeda,H., <u>Koike.T.</u>	Peripheral blood stem cell mobilization following plus rituximab therapy combined with G- CSF in patients with B- cell non- Hodgkin's lymphoma.	Bone Marrow Transplant.	33	703- 707	2004
Amengual O, Atsumi T, <u>Koike T.</u>	Specificities, properties, and clinical significance of antiprothrombin antibodies.	Arthritis Rheum	2	886- 895	2003
Hashimoto S, Shiroshita K, Sakurai T, Takeda A, Kawata T, <u>Koike T.</u> , Sato H, Ueda T.	Unilateral renal cortical necrosis with contralateral hydronephrosis after surgery for uterus carcinoma.	Clin Exp Nephrol	0		2003
Higuchi M, Ishizu A, Ikeda H, Hayase H, Fugo K, Tsuji M, Abe A, Sugaya T, Suzuki A, Takahashi T, <u>Koike T.</u> , Yoshiki T.	Functional alteration of peripheral CD25(+)CD4(+)immunoregulatory T cells in a transgenic rat model of autoimmune diseases.	J Autoimmun	1	43- 49	2003
Kawakubo K, Endo T, Koizumi K, Nishio M, Fujimoto K, Sakai T, Sawada K, <u>Koike T.</u>	Granular lymphocyte proliferative disorder after autologous peripheral blood stem cell transplantation for multiple myeloma.	Eur J Haematol	71	124- 127	2003

Kobayashi K, Kishi M, Atsumi T, Bertolaccini ML, Makino H, Sakairi N, Yamamoto I, Yasuda T, Khamashta MA, Hughes GR, <u>Koike T</u> , Voelker DR, Matsuura E	Circulating oxidized LDL forms complexes with beta2- glycoprotein I: implication as an atherogenic autoantigen.	J Lipid Res	2	16- 726	2003
Koizumi K, Nakao S, Haseyama Y, Kato H, Ohi M, Motohara T, Endo T, Sawada K, <u>Koike T</u> .	Severe aplastic anemia associated with thymic carcinoma and partial recovery of hematopoiesis after thymectomy.	Ann Hematol	3	367- 370	2003
Oku K, Atsumi T, Furukawa S, Horita T, Sakai Y, Jodo S, Amasaki Y, Ichikawa K, Amengual O, <u>Koike T</u> .	Cerebral imaging by magnetic resonance imaging and single photon emission computed tomography in systemic lupus erythematosus with central nervous system involvement.	Rheumatology	2	73- 777	2003
Sakai, Y., Atsumi, T., Itoh, T., <u>Koike, T</u>	Uveitis, pancarditis, haemophagocytosis, and abdominal masses.	Lancet	361	834	2003
Shoenfeld Y, Krause I, Kvapil F, Sulkes J, Lev S, Landenberg P, Font J, Zaech J, Cervera R, Piette J, Boffa M, Khamashta M, Bertolaccini M, Hughes G, Youinou P, Meroni P, Pengo V, Alves J, Tincani A, Szegedi G, Lakos G, Sturfelt G, Jonsen A, <u>Koike T</u> , Sanmarcp M, Ruffatti A, Ulcova-gallova Z, Praprotnic S, Rozman B, Lorber M, Vriezman V.	Prevalence and Clinical Correlations of Antibodies Against Six β 2-Glycoprotein- I- Related Peptides in the Antiphospholipid Syndrome.	J Clin Immunol	1	375	2003
Wu R, Shoenfeld Y, Sherer Y, Patnaik M, Matsuura E, Gilburd B, <u>Koike T</u> , Peter JB.	Anti- idiotypes to oxidized LDL antibodies in intravenous immunoglobulin preparations- - possible immunomodulation of atherosclerosis.	Autoimmunity	2	91- 97	2003
Horita, T., Tsutsumi, A., Takeda, T., Yasuda, S., Takeuti, R., Amasaki, Y., Ichikawa, K., Atsumi, T., <u>Koike, T</u> .	Significance of magnetic resonance imaging in diagnosis of nodular regenerative hyperplasia of the liver complicated with systemic lupus erythematosus	Lupus	11	193- 196	2002
Okamoto, T., Tanaka, S., Stan, C.A., Koike, T., Kas, M., Makita, Z., Sawa, H., Nagashima, K.	Advanced glycation end products induce angiogenesis in vivo.	Mol Res	3	186- 195	2002
Atsumi, T., <u>Koike, T</u> .	Clinical relevance of antiprothrombin antibodies.	Autoimmunity Reviews.	1	49- 53	2002
Ieko, M., Nakabayashi, T., Takeda, T., Naitoh, S., Atsumi, T., <u>Koike, T</u> .	The inhibition of protein C anticoagulant activity by anti- β 2-glycoprotein I (β 2GPI) antibodies isolated from patients with antiphospholipid syndrome by chromatography methods.	Mod Rheumatol.	12	44- 49	2002
Matsuura, E., Kobayashi, K., Kasahara, J., Yasuda, T., Makino, H., <u>Koike, T</u> , Shoenfeld, Y.	Anti- β 2- glycoprotein I antibodies and atherosclerosis.	Int.Rev.Immunol.	21	51- 66	2002

Yasuda,S., Tsustumi,A., Astumi,T., Bertolaccini,M.L., Ichikawa,K., Khamashta,M.A., HugesR.V., <u>Koike,T.</u>	Gene polymorphisms of tissue plasminogen activator and plasminogenactivator inhibitor- 1patients with antiphospholipid antibodies.	J.Rheumatol.	1	1192-1197	2002
Koizumi,K., Haseyama,Y., Machino,R., Sato,Y., Sawada,K., <u>Koike,T.</u>	The hemophagocytic syndrome in prostage cancer renealed by disseminated carcinomatosis of the bone marrow.	J.Urology.	168	1101-1102.	2002
Yamaguchi,M., Hirayama,F., Murahashi,H., Azuma,H.,Sato,N., Miyazaki,H., Fukazawa,K., Sawada,K., <u>Koike,T.</u> , Ikeda,H., Ikebuchi,K.	Ex vivo expansion of human UC blood primitive hematopoietic progenitors and transplantable stem cells using human primary BM stromal cells and human AB serum.	Cytotherapy.	0	109- 118.	2002
Tyndall,A., <u>Koike.T.</u>	High- dose immunoablative therapy with hematopoietic stem cell support in the treatment of severe autoimmune disease: current status and future direction.	Int.Med.	2	608- 612	2002
Miyoshi,H., Taguchi,T., Sugiura,M., Takeuchi,M., Yanagisawa,K., Watanabe,Y., Miwa,I., Makita,Z., <u>Koike.T.</u>	Aminoguanidine pyridoxal adduct is superior to aminoguanidine for preventing diabetic nephropathy in mice.	Horm Metab Res.	34	371- 377	2002
Takeuchi,R.,Atsumi,T.,Ieko,M.,Amasaki,Y., Ichikawa,K., <u>Koike.T.</u>	Supporsed intrinsic fibrinolytic activity by monoclonal anti- beta2 glycoprotein I autantibodies:possible mechanism for thrombosis in patients with antiphospholipid syndrome.	Brit J hematol.	118	781- 788	2002
Ambrozic,A., Avicin,T., Ichikawa,K., Kvedar,T., Matsuura,E., Hojnik,M., Atsumi,T., Rozman,B., <u>Koike.T.</u>	Anti- β 2- glycoprotein I antibodies in children with atopic dermatitis.	Int Immunol.	14	823- 830	2002
Tsuzaka T, Onoda N, Yoshimoto K, Zhang L, Pang M, Abe T, and <u>Takeuchi T.</u>	T cell receptor z mRNA with an alternatively spliced 3' untranslated region is generated predominantly in the peripheral blood T cells of systemic lupus erythematosus patients.	Modern Rheum	12	167- 173	2002
Pang M, Setoyama Y, Tsuzaka K, Yoshimoto K, Amano K, Abe T, and <u>Takeuchi T.</u>	Defective expression and tyrosine phosphorylation of the T cell receptor zeta chain in peripheral blood T cells from systemic lupus erythematosus patients.	Clin Exp Immunol	129	160- 169	2002
Tsuzaka K, Fukuhara I, Setoyama Y, Yoshimoto K, Suzuki K, Abe T, and <u>Takeuchi T.</u>	TCRz mRNA with an alternatively spliced 3' untranslated region detected in systemic lupus erythematosus patients leads to the down- regulation of TCRz and TCR- CD3 complex.	J Immunol	171	2496- 2503	2003
<u>Takeuchi T.</u> , Tsuzaka K, and Abe T .	Altered expression of the T cell receptor- CD3 complex in systemic lupus erythematosus	nt Rev Immunol	23	273- 291	2004
Tsuzaka K, Shiraishi K, Yoshimoto K, Setoyama Y, Abe T, and <u>Takeuchi T.</u>	A splice variant of the TCR z mRNA lacking exon 7 leads to the down- regulation of TCR z, the TCR/CD3 complex, and IL- 2 production in SLE T cells. .	J Immunol	174	3518- 3525	2005

Higuchi, T., Aiba, Y., Nomura, T., Matsuda, J., Mochida, K., Suzuki, M., Kikutani, H., Honjo, T., Nishioka, K. and Tsubata T.	Cutting Edge: Ectopic expression of CD40 ligand on B cells induces lupus-like autoimmune disease.	J. Immunol.	168	9- 12	2002
Wakabayashi, C., Adachi, T., Wienands, J. and <u>Tsubata, T.</u>	A distinct signaling pathway used by the IgG- containing B cell antigen receptor.	Science.	298	2392-2395	2002
Hokazono, Y., Adachi, T., Wabl, M., Tada, N., Amagasa, T., and <u>Tsubata, T.</u>	Inhibitory Co- receptors Activated by Antigens but Not by Anti-immunoglobulin Heavy Chain Antibodies Install Requirement of Co-stimulation through CD40 for Survival and Proliferation of B cells.	J. Immunol.	171	1835-1843	2003
Nitschke, L. and <u>Tsubata, T.</u>	Molecular interactions regulate BCR signal inhibition by CD22 and CD72.	Trends Immunol	25	543- 550	2004
Kawamura, T., Kanai, T., Dohi, T., Uraushihara, K., Totsuka, T., Iiyama, R., Taneda, C., Yamazaki, M., Nakamura, T., Higuchi, T., Aiba, Y., <u>Tsubata, T.</u> and Watanabe, M.	Ectopic CD40 ligand expression on B cells trigger intestinal inflammation.	J. Immunol.	172	6388-6397	2004
Goya S, Matsuoka H, Mori M, Morishita H, Kida H, Kobashi Y, Kato T, Taguchi Y, Osaki T, Tachibana I, <u>Nishimoto N.</u> Yoshizaki K, Kawase I, Hayashi S.	Sustained interleukin- 6 signaling leads to the development of lymphoid organ-like structures in the lung.	J. Pathol.	200	82- 87	2003
Nakahara H, Song J, Sugimoto M, Hagihara K, Kishimoto T, Yoshizaki K, <u>Nishimoto N.</u>	Anti- interleukin- 6 receptor antibody therapy reduces vascular endothelial growth factor (VEGF) production in rheumatoid arthritis.	Arthritis Rheum.	48	1521-1529	2003
<u>Nishimoto N.</u> , Yoshizaki K, Miyasaka N, Yamamoto K, Kawai S, Takeuchi T, Hashimoto J, Azuma J, Kishimoto T.	Treatment of Reumatoid Arthritis with Humanized Anti- interleukin 6 Receptor Antibody.	Arthritis Rheum.	50	1761-1769	2004
Becker C, Fantini MC, Schramm C, Lehr HA, Wirtz S, Nikolaev A, Burg J, Strand S, Kiesslich R, Huber S, Ito H, <u>Nishimoto N.</u> Yoshizaki K, Kishimoto T, Galle PR, Blessing M, Rose- John S, Neurath MF.	TGF- b suppresses tumor progression in colon cancer by inhibition of IL- 6 <i>trans</i> - signaling.	Immunity.	21	491- 501	2004
Doganci A, Eigenbrod T, Krug N, De Santis,GT, Hausding M, Erpenbeck VJ, Haddad, E,Bopp T, Kallen KJ, Herz U, Schmitt S, Luft C, Hecht O, Hohlfeld JM, <u>Nishimoto N.</u> Yoshizaki K, Kishimoto T, Rose- John S, Renz H, Neurath MF, Galle PR, Finotto S.	The IL-6 α chain controls lung CD4+CD25+ Treg development and function during allergic airway inflammation in vivo.	J. Clin. Invest.	115	313- 325	2005
Miyamoto, A., Nakayama, K., <u>Hirose, S.</u> , Jiang, Y., Abe, M., Tsukiyama, T., Nagahama, H., Ohno. S., Hatakeyama. S., Nakayama, K.	Increased, proliferation of B cells and auto- immunity in mice lacking protein kinase C δ .	Nature	416	865- 869	2002
Miura- Shimura, Y., Nakamura, K., Ohtsuji, M., Tomita, H., Jiang, Y., Abe, M., Zhang. D., Hamano, Y., Tsuda, H., Hashimoto, H., Nishimura, H., Taki, S., Shirai, T., <u>Hirose, S.</u>	C1q regulatory region polymorphism down- regulating murine C1q protein levels with linkage to lupus nephritis.	J. Immunol.	169	1334-1339	2002

Iwai, H., Kozono, Y., Hirose, S., Akiba, H., Yagita, H., Okumura, K., Kohsaka, H., Miyasaka, N., Azuma, M.	Amelioration of collagen- induced arthritis by blockade of inducible costimulator- b7 homologous protein costimulation.	J. Immunol.	169	4332-4339	2002
Xie, Y., Nakamura, K., Abe, M., Li, N., Wen, X- S., Jiang, Y., Zhang, D., Tsurui, H., Matsuoka, S., Hamano, Y., Fujii, H., Ono, M., Takai, T., Shimokawa, T., Ra, C., Shirai, T., Hirose, S.	Transcriptional regulation of Fcgr2b gene by polymorphic promoter region and its contribution to humoral immune responses.	J. Immunol.	169	4340-4346	2002
Shirai, T., Nishimura, H., Jiang, Y., Hirose, S.	Genome screening for susceptibility loci in systemic lupus erythematosus.	Am. J. Pharmacogenomics	2	1- 12	2002
Hirose, S., Jiang, Y., Hamano, Y., Nishimura, H.	Genetic basis of systemic lupus erythematosus.	Drugs of Today	38	167- 184	2002
Kobayashi, M., Kimura, H., Liao, J., Abe, M., Hirose, S., Tomino, Y.	Measurement of mouse urinary typeIV collagen using time- resolved fluoroimmunoassay.	Anal. Science	19	205- 210	2003
Matsuoka, S., Tsurui, H., Abe, M., Terashima, K., Nakamura, K., Hamano, Y., Ohtsuji, M., Honma, N., Serizawa, I., Ishii, Y., Takiguchi, M., Hirose, S., Shirai, T.	A monoclonal antibody to the a2 domain of murine major histocompatibility complex class I that specifically kills activated lymphocytes and blocks liver damage in the concanavalin A hepatitis model.	J. Exp. Med.	198	497- 503	2003
Nakamura, K., Xiu, Y., Ohtsuji, M., Sugita, G., Abe, M., Ohtsuji, N., Hamano, Y., Jiang, Y., Takahashi, N., Shirai, T., Nishimura, H., Hirose, S.	Genetic dissection of anxiety in autoimmune disease.	Hum. Mol. Genet.	12	1079- 1086	2003
Fujimura, S., Kuwahara, K., Ezaki, T., Tomita, K., Hirose, S., Sakaguchi, N.	Spontaneous increase of plasma- like cells with high GAMP expression in the extrafollicular region of lymphoid organs of autoimmune- prone mice.	J. Autoimmunity	20	291- 301	2003
Iwai, H., Abe, M., Hirose, S., Tsushima, F., Tezuka, K., Akiba, H., Yagita, H., Okumura, K., Miyasaka, N., Azuma, M.	Involvement of inducible costimulator- B7 homologous protein costimulatory pathway in murine lupus nephritis.	J. Immunol.	171	2848- 2854	2003
Tsushima, F., Iwai, H., Otsuki N., Abe, M., Hirose, S., Yamazaki, T., Akiba, H., Yagita, H., Takahashi, Y., Omura, K., Okumura, K., Azuma, M.	Preferential contribution of B7- H1 to programmed death 1 mediated regulation of hapten- specific allergic inflammatory responses.	Eur. J. Immunol.	33	2773- 2782	2003
Li, N., Nakamura, K., Jiang, Y., Tsurui, H., Matsuoka, S., Abe, M., Ohtsuji, M., Nishimura, H., Kato, K., Kawai, T., Atsumi, T., Koike, T., Shirai, T., Ueno, H., Hirose, S.	Gain- of- function polymorphism in mouse and human Ltk: implications for the pathogenesis of systemic lupus erythematosus.	Hum. Mol. Genet.	13	171- 179	2004
Fujio, K., Okamoto, A., Tahara, H., Abe, M., Jiang, Y., Kitamura, T., Hirose, S., Yamamoto, K.	Nucleosome- specific regulatory T cells engineered by triple gene transfer suppress a systemic autoimmune disease.	J. Immunol.	173	2118- 2125	2004

Wen, X, Zhang, D., Kikuchi, Y., Jiang, Y., Nakamura, K., Xiu, Y, Tsurui, H., Takahashi, K., Abe, M., Ohtsuji, M., Nishimura, H., Takatsu, K., Shirai, T., <u>Hirose, S.</u>	Transgene- mediated hyper- expression of IL- 5 inhibits autoimmune disease, but increases the risk of B- cell chronic lymphocytic leukemia in a model of murine lupus.	Eur. J. Immunol.	34	2740-2749	2004
Zhang, D., Fujio, K., Jiang, Y., Zhao, J., Tada, N., Sudo, K., Tsurui, H., Nakamura, K., Yamamoto, K., Nishimura, H., Shirai, T., <u>Hirose, S.</u>	Dissection of the role of MHC class II A and E genes in autoimmune susceptibility in murine lupus models with intragenic recombination.	Proc. Natl. Acad. Sci. USA	101	13838-13843	2004
Kudo, H., Matsuoka, T., Mitsuya, H., Nishimura, Y. and <u>Matsushita, S.</u>	Cross- linking HLA- DR molecules on Th1 cells induces anergy in association with increased level of cyclin- dependent kinase inhibitor p27Kip1.	Immunol. Lett.	81	149- 155	2002
Ohyama, H., Nishimura, F., Meguro, M., Takashiba, S., Murayama, Y. and <u>Matsushita, S.</u>	Counter- antigen presentation: fibroblasts produce cytokines by signaling through HLA class II molecules without inducing T- cell proliferation	Cytokine	17	175- 181	2002
Meguro, M., Nishimura, F., Ohyama, H., Takashiba, S., Murayama, Y. and <u>Matsushita, S.</u>	Ligation of HLA- DR Molecules on Fibroblasts Induces Rantes Expression via c- Jun N- terminal Kinase (JNK) Pathway.	Cytokine	22	107- 115	2003
Matsushita, S., Ohyama, H., Kudo, H., Tabata, H. and <u>Matsuoka, T.</u>	HLA- mediated signaling via HLA- peptide- TCR complex determines immune responses of antigen- presenting cells.	Current Topics in Peptide & Protein Research.	6	1- 20	2004
Miyake S., Ohtani Y., Sawada M., Inase N., Miyazaki Y., Takano S., <u>Miyasaka N.</u> , Yoshizawa Y.	Usefulness of cyclosporine A on rapidly progressive interstitial pneumonia in dermatomyositis.	Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis.	19	128- 133	2002
Nagasaka K., Harigai M., Tateishi M., Hara M., Yoshizawa Y., Koike T., <u>Miyasaka N.</u>	Efficacy of combination treatment with cyclosporin A and corticosteroids for acute interstitial pneumonitis associated with dermatomyositis.	Mod. Rheumatol.	13	231- 238	2003
Iwai H., Abe M., Hirose S., Tsushima F., Tezuka K., Akiba H., Yagita H., Okumura K., Kohsaka H., <u>Miyasaka N.</u> , Azuma M.	Involvement of inducible costimulator- B7 homologous protein costimulatory pathway in murine lupus nephritis.	J. Immunol.	171	2848- 2854	2003
Fujibayashi T., Sugai S., <u>Miyasaka N.</u> , Hayashi Y., Tsubota K.	Revised Japanese criteria for Sjogren's syndrome(1999): its availability and validity.	Mod. Rheumatol.	14	425- 434	2004
Takada K., Nagasaka K., <u>Miyasaka N.</u>	Polymyositis/Dermatomyositis and interstitial lung disease; a new therapeutic approach with T cell- specific immunosuppressants.	Autoimmunity			in press
Emori A., Matsushima E., Aihara O., Ohta K., Koike R., Miyasaka N., Katoh M.	Cognitive dysfunction in systemic lupus erythematosus.	J. Clin. Psych.			in press
Hayase H, Ishizu A, Ikeda H, Miyatake Y, Baba T, Higuchi M, Abe A, Tomaru U, Yoshiki T.	Aberrant gene expression by CD25+CD4+ immunoregulatory T cells in autoimmune- prone rats carrying the human T cell leukemia virus type- I gene.	Int Immunol			in press

Abe A, <u>Ishizu A</u> , Ikeda H, Hayase H, Tsuji T, Miyatake Y, Tsuji M, Fugo K, Sugaya T, Higuchi M, Matsuno T, Yoshiki T.	Bone marrow cells carrying the env- pX transgene play a role in the severity but not prolongation of arthritis in human T- cell leukemia virus type- I transgenic rats.	Int J Exp Pathol	85	191- 200	2004
Higuchi M, <u>Ishizu A</u> , Ikeda H, Hayase H, Fugo K, Tsuji M, Abe A, Sugaya T, Suzuki A, Takahashi T, Koike T, Yoshiki T.	Functional alteration of peripheral CD25+CD4+ immunoregulatory T cells in a transgenic rat model of autoimmune diseases.	J Autoimmun	20	43- 49	2003
<u>Ishizu A</u> , Tsuji T, Abe A, Saito S, Takahashi T, Ikeda H, Meruelo D, Yoshiki T.	Transduction of dominant negative ATF- 1 suppresses the pX gene expression in joint fibroblastic cells derived from HTLV- I transgenic rats.	Exp Mol Pathol	74	309- 313	2003
Fugo K, <u>Ishizu A</u> , Ikeda H, Hayase H, Sugaya T, Higuchi M, Tsuji M, Abe A, Suzuki A, Shibata M, Takahashi T, Yoshiki T.	The role of the thymus in development of necrotizing arteritis in transgenic rats carrying the env- pX gene of human T cell leukemia virus type I.	Am J Pathol	161	755- 761	2002
Kobayashi T, <u>Ito S</u> , Yamamoto K, Hasegawa H, Sugita N, Kuroda T, Kaneko S, Narita I, Yasuda K, Nakano M, Gejyo F, Yoshie H.	Risk of Periodontitis in Systemic Lupus Erythematosus is Associated with Fcg Receptor Polymorphisms.	J Periodontology	74	378- 384	2003
<u>Ito S</u> , Kuriyama H, Iino N, Iguchi S, Shimada H, Ueno M, Narita I, Nakano M, Nishi S, Karasawa R, Gejyo F.	Patient with diffuse mesangial and endocapillary proliferative glomerulonephritis with hypocomplementemia and elevated anti- streptolysin O treated with prednisolone, angiotensin- converting enzyme inhibitor, and angiotensin II receptor antagonist.	Clin Exp Nephrol	7	290- 295	2003
Takahashi R, Tsutsumi A, Ohtani K, Goto D, Matsumoto I, <u>Ito S</u> , Wakamiya N, Sumida T.	Anti- mannose binding lectin antibodies in sera of Japanese patients with systemic lupus erythematosus.	Clin Exp Immunol	136	585- 590	2004
Yoko W, <u>Ito S</u> , Mitsuhiro U, Nakano M, Arakawa M, Gejyo F.	Renal outcome and predictors of clinical renal involvement in patients with silent lupus nephritis.	Nephron	98	105- 111	2004
Tanaka F, <u>Eguchi K</u>	INF- γ /JAK/STAY pathway-induced inhibition of DR4 and DR5 expression on endothelial cells is cancelled by cycloheximide- sensitive mechanism: Noble finding of cycloheximide to regulate death receptor expression.	Int J Mol Med			in press
Miyashita, T., Kawakami,A., Nakashima,T., Yamasaki,S., Tamai,M., F. Tanaka,I, M. Kamachi, H. Ida, Migita, K., Origuchi, T., Nakao,K., <u>Eguchi, K</u> .	Osteoprotegerin (OPG) acts as an endogenous decoy receptor in tumour necrosis factor- related apoptosis- inducing ligand (TRAIL)- mediated apoptosis of fibroblast- like synovial cells.	Clin Exp Immunool	137	430- 436	2004
Migita, T., Miyashita,T., Ishibashi, H., Maeda,Y., Nakamura, M., Yatsuhashi,H., Ida, H., Kawakami,A., Aoyagi, T.,Y. Kawabe, Y., <u>Eguchi, K</u> .	Suppressive effect of leflunomide metabolite (A77 1726) on metalloproteinase production in IL-1beta stimulated rheumatoid synovial fibroblasts.	Clin Exp Immunool	137	612- 616	2004

Hida, A., Kawakami, A., Miyashita, T., Yamasaki, S., Nakashima, K., Tanaka, F., Izumi, Y., Tamai, M., Huang, M., Ida, H., Nakamura, H., Origuchi, T., Ueki, Y., <u>Eguchi, K.</u>	Nitric oxide acts on the mitochondria and protects human endothelial cells from apoptosis.	J Lab Clin Med	144	148- 155	2004
Ida, H., Kawasaki, E., Miyashita, T., Tanaka, F., Kamachi, M., Izumi, Y., Huang, M., Tamai, M., Origuchi, T., Kawakami, A., Migita, M., Motomura, T., Yoshimura, K., <u>Eguchi, K.</u>	A novel mutation (T611) in the gene encoding tumour necrosis factor receptor superfamily 1A (TNFRSF1A) in a Japanese patient with tumor necrosis factor receptor- associated periodic syndrome (TRAPS) associated with systemic lupus erythematosus.	Rheumatology	43	1292- 1299	2004
Ishida, Y., Migita, K., Izumi, Y., Nakao, K., Ida, H., Kawakami, A., Abiru, S., Ishibashi, H., <u>Eguchi, K.</u> , Eguchi, K.	The role of IL- 18 in the modulation of matrix metalloproteinases and migration of human natural killer (NK) cells.	FEBS Lett	569	156- 160	2004
Tanaka, F., Migita, K., Kawabe, Y., Aoyagi, T., Ida, H., Kawakami, A., <u>Eguchi, K.</u>	Interleukin- 18 induces serum amyloid A (SAA) protein production from rheumatoid synovial fibroblasts.	Life Sci	74	1671- 1679	2004
Yamasaki, S., Nakashima, T., Kawakami, A., Miyashita, T., Tanaka, F., Ida, H., Migita, K., Origuchi, T., <u>Eguchi, K.</u>	Cytokines regulate fibroblast-like synovial cell differentiation to adipocyte-like cells.	Rheumatology	43	448- 452	2004
Kawakami, A., Urayama, S., Yamasaki, S., Hida, A., Miyashita, T., Kamachi, M., Nakamura, K., Tanaka, F., Ida, H., Kawabe, Y., Aoyagi, T., Furuichi, I., Migita, K., Origuchi, T., <u>Eguchi, K.</u>	Anti- apoptogenic function of TGFbeta 1 for human synovial cells: TGFbeta 1 protects cultured synovial cells from mitochondrial perturbation induced by several apoptogenic stimuli.	Ann Rheum Dis	63	95- 97	2004
Origuchi, T., Kawasaki, E., Ide, A., Kamachi, M., Tanaka, F., Ida, H., Kawakami, A., Migita, K., <u>Eguchi, K.</u>	Correlation between interleukin 10 gene promoter region polymorphisms and clinical manifestations in Japanese patients with Sjögren's syndrome.	Ann Rheum Dis	62(11)	1117- 1118	2003
Nakashima, K., Kawakami, A., Hida, A., Yamasaki, S., Nakamura, H., Kamachi, M., Miyashita, T., Tanaka, F., Izumi, Y., Tamai, M., Ida, H., Furuyama, M., Koji, T., Nakamura, T., Migita, K., Origuchi, T., <u>Eguchi, K.</u>	Protection of mitochondrial perturbation by human T- lymphotropic virus type 1 tax through induction of Bcl- xL expression.	J Lab Clin Med	142(5)	341- 347	2003
Id, H., Nakashima, H., NL, Kedersha, Yamasaki, S., Huang, M., Izumi, Y., Miyashita, T., Origuchi, T., Kawakami, A., Migita, K., P I, Bird, P., Anderson, <u>Eguchi, K.</u>	Granzyme B leakage- induced cell death: a new type of activation- induced natural killer cell death.	Eur J Immunol	33(12)	3284- 3292	2003
Miyashita, T., Kawakami, A., Tamai, M., Izumi, Y., Mingguo, H., Tanaka, F., Abiru, S., Nakashima, K., Iwanaga, N., Aratake, K., Kamachi, M., K. Arima, K., Ida, H., Migita, K., Origuchi, T., Tagashira, S., Nishikaku, F., <u>Eguchi, K.</u>	Akt is an endogenous inhibitor toward tumor necrosis in rheumatoid synovial cells.	Biochem Biophys Res Commun	312(2)	397- 404	2003

Shigeno ,M., Nakao,K., Ichikawa, T., Suzuki, K., Kawakami,A., Abiru,S., Miyazoe,S., Nakagawa,Y., Ishikawa,H., Hamasaki, K., Nakata,K., Ishii, N., <u>Eguchi, K.</u>	Interferon- α sensitizes human hepatoma cells to TRAIL- induced apoptosis through DR5 upregulation and NF- kB inactivation.	Oncogene	22(11)	1653-1662	2003
Kawakami A, <u>Eguchi K</u>	Involvement of apoptotic cell death in autoimmune diseases.	Med Electron Microsc	35(1)	1- 8	2002
Yamasaki ,S., Nakashima, T., Kawakami,A., Miyashita, T., Ida,H., Migita, Nakata, K., <u>Eguchi, K.</u>	Functional changes in rheumatoid fibroblast- like synovial cells through activation of peroxisome proliferator-activated receptor γ -mediated signalling pathway.	Clin Exp Immunool	129(2)	379- 384	2002
Kawakami ,A., Hida, A., Yamasakia, S., Miyashita,T., Nakashima, K.,Tanaka, F., Ida,H., Furuyama, M., Migita,K., Origuchi, T., <u>Eguchi, K.</u>	Modulation of the expression of membrane- bound CD54 (mCD54) and soluble form of CD54 (sCD54) in endothelial cells by glucosyl transferase inhibitor: possible role of ceramide for the shedding of mCD54.	Biochem Biophys Res Commun	296 (1)	26- 31	2002
Kamachi, M.,Kawakami, A., Yamasaki,S., Hida, A., Nakashima, T., Nakamura,H., Ida, H., Furuyama,M., Nakashima, K., Shibatomi, K.,Miyashita,T., Migita,K., <u>Eguchi, K.</u>	Regulation of apoptotic cell death by cytokines in a human salivary gland cell line: distinct and synergistic mechanisms in apoptosis factor α and colitis.	J Lab Clin Med	139(1)	13- 19	2002
Probst, H.C., McCoy, K., <u>Okazaki, T.</u> , Honjo, T., van den Broek, M.	Resting dendritic cells induce peripheral CD8(+) T cell tolerance through PD- 1 and CTLA- 4.	Nat. Immunol.	6(3)	280- 286	2005
<u>Okazaki, T.</u> , Tanaka, Y., Nishio, R., Mitsuiye, T., Mizoguchi, A., Wang, J., Ishida, M., Hiai, H., Matsumori, A., Minato, N., Honjo, T.	Autoantibodies against cardiac troponin I are responsible for dilated cardiomyopathy in PD- 1- deficient mice.	Nat. Med.	9(12)	1477-1483	2003
Iwai, Y., Terawaki, S., Ikegawa, M., <u>Okazaki, T.</u> , Honjo, T.	PD- 1 inhibits antiviral immunity at the effector phase in the liver.	J. Exp. Med.	198(1)	39- 50	2003
<u>Okazaki, T.</u> , Iwai, Y., Honjo, T.	New regulatory co- receptors: inducible co- stimulator and PD- 1.	Curr. Opin. Immunol.	14(6)	779- 782	2002
Iwai, Y., Ishida, M., Tanaka, Y., <u>Okazaki, T.</u> , Honjo, T., Minato, N.	Involvement of PD- L1 on tumor cells in the escape from host immune system and tumor immunotherapy by PD- L1 blockade.	Proc. Natl. Acad. Sci. U S A.	99(19)	12293-12297	2002
Okamoto N, Yostuyanagi H, Ooka S, Matsui T, Suzuki- Kurokawa M, Suzuki M, Iino S, Nishioka K, <u>Kato T.</u>	Autoantibodies to CD69 in patients with chronic hepatitis type C: A Candidate Marker for Predicting the Response to Interferon Therapy.	Intervirolgy.	46	56- 65	2003
Ooka S, Matsui T, Nishioka K, <u>Kato T.</u>	Autoantibodies to low density lipoprotein receptor- related protein 2 (LRP2) in systemic autoimmune diseases.	Arthritis Res Ther.	5(3)	R174-180	2003